

この東京を決める選挙。

東京都知事選挙

7月31日(日) 午前7時～午後8時

自分達・子供達の未来を決める一票。

平和・人権を守り、政治を変える一歩。

まず行こう！投票へ！

組合員の皆さんの、参議院選挙への協力に感謝します。

民進党タクシー・議連・田城郁(たしろかおる)さん惜敗！

参議院選挙への協力に感謝します。

東洋交通労働組合は、憲法の基本姿勢である「国民主権・基本的人権・平和主義」を守るために、野党4党共闘が参議院での過半数を目指す投票行動を呼びかけました。多くの組合員の皆さんは、全自交の推薦候補者の投票に協力していただきました。一票の力の積み重ねによって、推薦候補者の当選を目指しましたが、比例代表の「田城郁(たしろかおる)さん」が惜敗しました。民進党の比例代表は11名当選で、田城さんの票は12番目でした。JR総連と全自交労連が、2万票を上乗せする努力が必要でした。




全国的な特徴では、期日前投票率は15%と過去最大にもかかわらず、投票率は54.7%で4番目に低い投票率であったこと。2013年と比較して、自民党が票と議席を増やして参議院の過半数である121議席になった事。民進党は票を増加させたが、改選議席を確保できなかった事。全国32の1人区で野党統一候補が票数を伸ばして11の選挙区で議席を獲得した事です。

国民のなかにアベノミクスに幻想をもつ層が2013年より増加し、一方で安倍政治の暴政に許さない野党共闘が市民運動の後押しで強化されている事が鮮明になっています。労働組合もこれまで以上に政治変革の運動に取り組む必要があります。

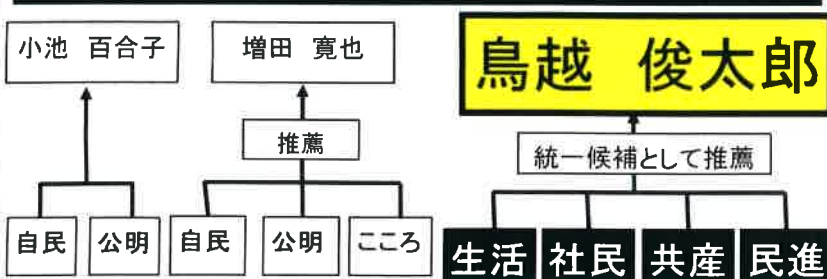
選挙の結果、格差社会の拡大による生活破壊と憲法破壊が進みます。タクシー産業を破壊する「白タク合

東京都知事選、主な立候補者の政策

(届け出順、敬称略)

立候補者	キャッチフレーズ	主な訴え
 鳥越俊太郎(76) ジャーナリスト 民進、共産、社民、生活推薦	あなたに都政を取り戻す 「困った」を希望に変える 東京へ	・コンパクトでシンプルな東京五輪の成功 ・子供の貧困や待機児童の解消 ・がん検診の促進
 増田寛也(64) 元総務相 自民、公明、日こ推薦	あたたかさと夢あふれる 東京に	・8000人の待機児童を早期解消 ・首都圏全体で介護体制を構築 ・五輪を成功させ、東京発展の道筋をつける
 小池百合子(64) 元防衛相	「東京大改革宣言」 明日のために、今はしめる	・都政の透明化 ・五輪関連予算・運営の適正化 ・行財政改革の推進 ・都知事報酬の削減 ・特区制度の徹底活用

知事選の主な構図



法化「ライドシェア」道路運送法の改善が通常国会に提案される可能性があります。今後も、公共交通機関としてのタクシーを守り、賃金・労働条件を改善する為に、政治活動と政策闘争を強化する事が重要です。

東京都知事選挙は、憲法を守り・都民の生活と権利を守る「野党統一候補」を推薦します。

東京都知事選挙は、参議院選挙の継続として、「憲法を守り・都民の生活と権利を守る」重要な選挙です。石原・猪瀬・舛添と続いた17年間の都政は、「新銀行東京の破綻」と賄

賄疑惑と政治資金の流用疑惑とオリビックに浮かれて、都民の生活と社会福祉の政策・制度は疎かにされてきました。これまでの都政を実質的に継続するのか、否かが問われる選挙です。今こそ、東京で、憲法を守り・都民の生活と権利を守る都知事を当選させる必要があります。

民進・共産・社民・生活の4野党が市民団体と共闘し、野党統一候補として「鳥越俊太郎氏」を擁立しました。野党共闘は参議院選挙で安倍暴走政治に一矢を報い重要な闘いを継続する事が重要です。

東洋交通労働組合は、野党統一候補である「鳥越俊太郎氏」を都知事候補として推薦します。